

AI時代の実践的人間関係学

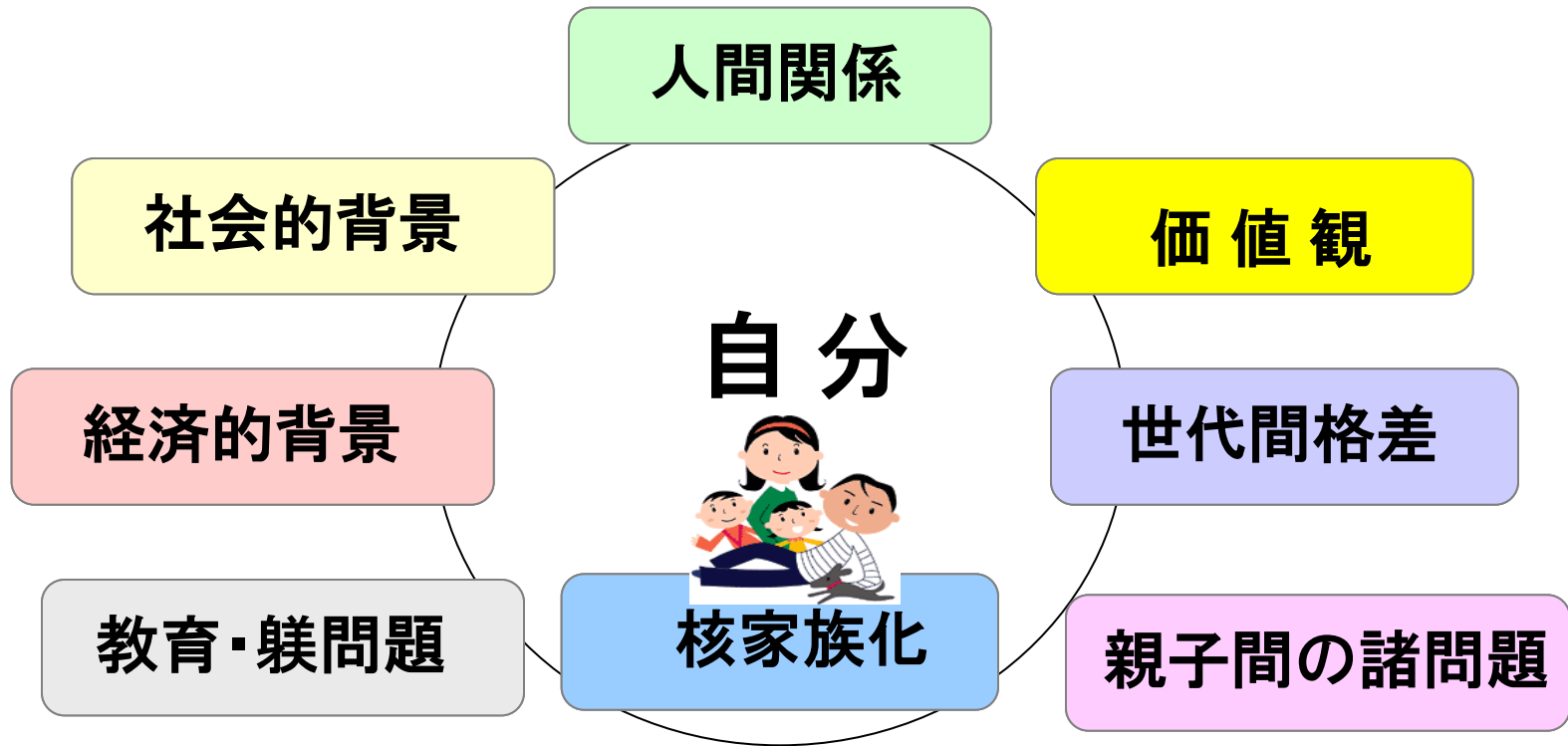
パーソナルコミュニケーション・メソッド

アイソバーコンサルタント代表 村山イッセイ

この講座の目的

人とひととのかわりに
すぐに活用できる情報と役立
つヒントを提供致します。

今の時代背景は……



情報の氾濫によって 「多角化」 「複雑化」

人との関わり方において共通で一つの基準ができれば...

日本に紹介されている数十の心理学説

社会心理学・認知行動心理学・分析心理学 等

注目!

能力心理学

分析心理学

融合!

統計学



実践的人間関係学
パーソナルコミュニケーション・メソッド

基本となる 3つのグループ

能力心理学

人の「精神構造」の中には
「知」「情」「意」の3つがある

知

考え方・知性

情

感じ方・感性

意

動き方・意志

仮説

人は何かを決めたり、行動を起こしたりするとき、これらのいずれかの一つを無意識の内に優先させている。
(自分らしさを出す)

実践心理学

考え方を優先するグループ

マインド・グループ

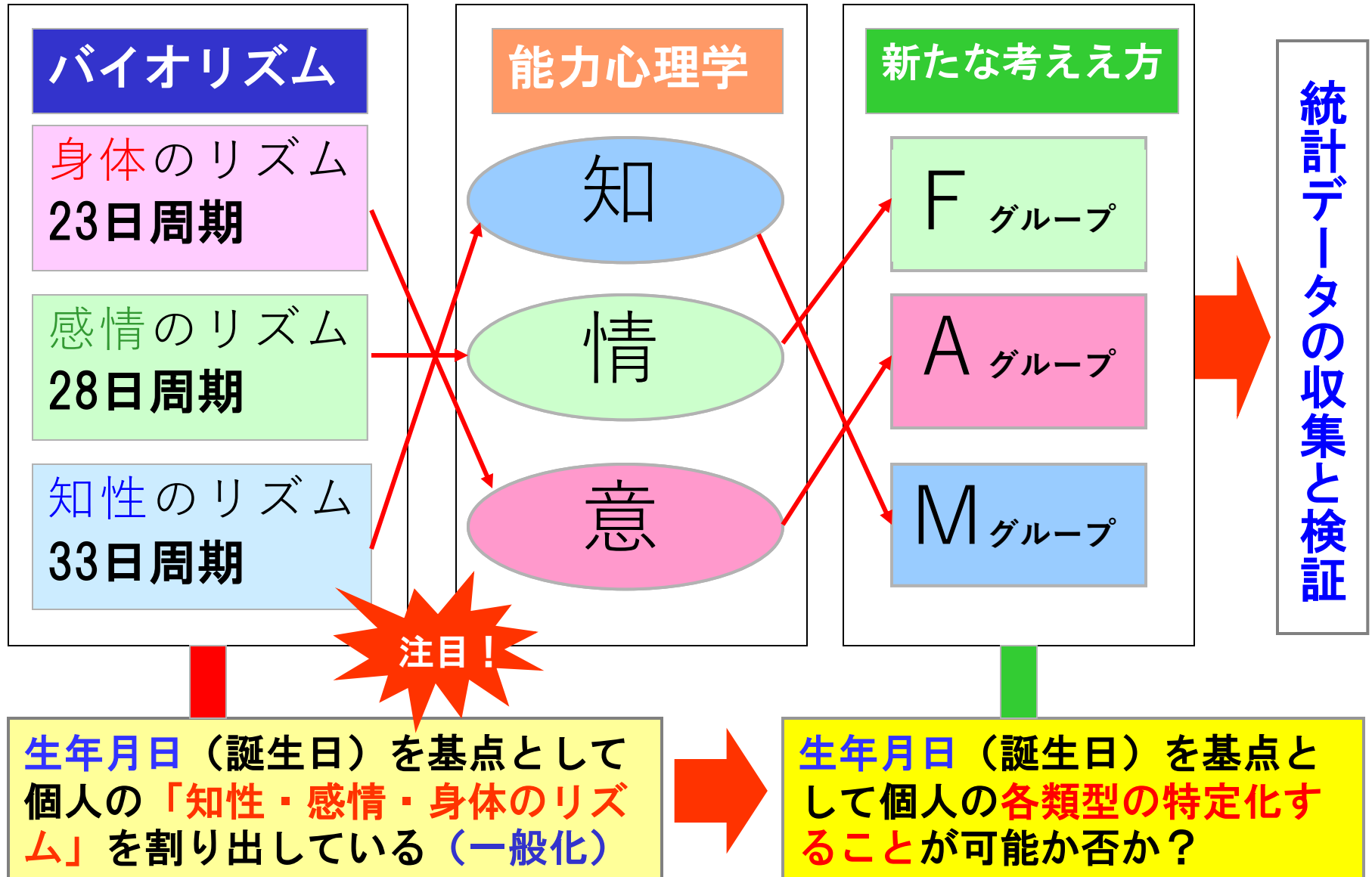
感じ方を優先するグループ

フィーリング・グループ

動き方を優先するグループ

アクティブ・グループ

グループの特定化



この実践的人間関係学を**活用**すると

1. **自分**のことがよく判るようになる。

2. 相手のことがよく判るようになる。

3. **自分**と相手の**違い**がよく判るようになる。

4. 相手との**接し方・付き合い方**が判るようになる。

5. **あいて**のことを**認める余裕**ができる。

お互いがこのステップを踏むことで、コミュニケーションは確実に活性化していく。＜お互いの情報を共有することが何よりも大切＞

人との付き合い方の目安

「実践的人間関係学」がそれを可能にする



人が何かを決めたり、行動したりするときの軸にあるもの



バイオリズム

能力心理学



新たな考え方



1.1万人以上のデータから統計的に実証



「感じ方」

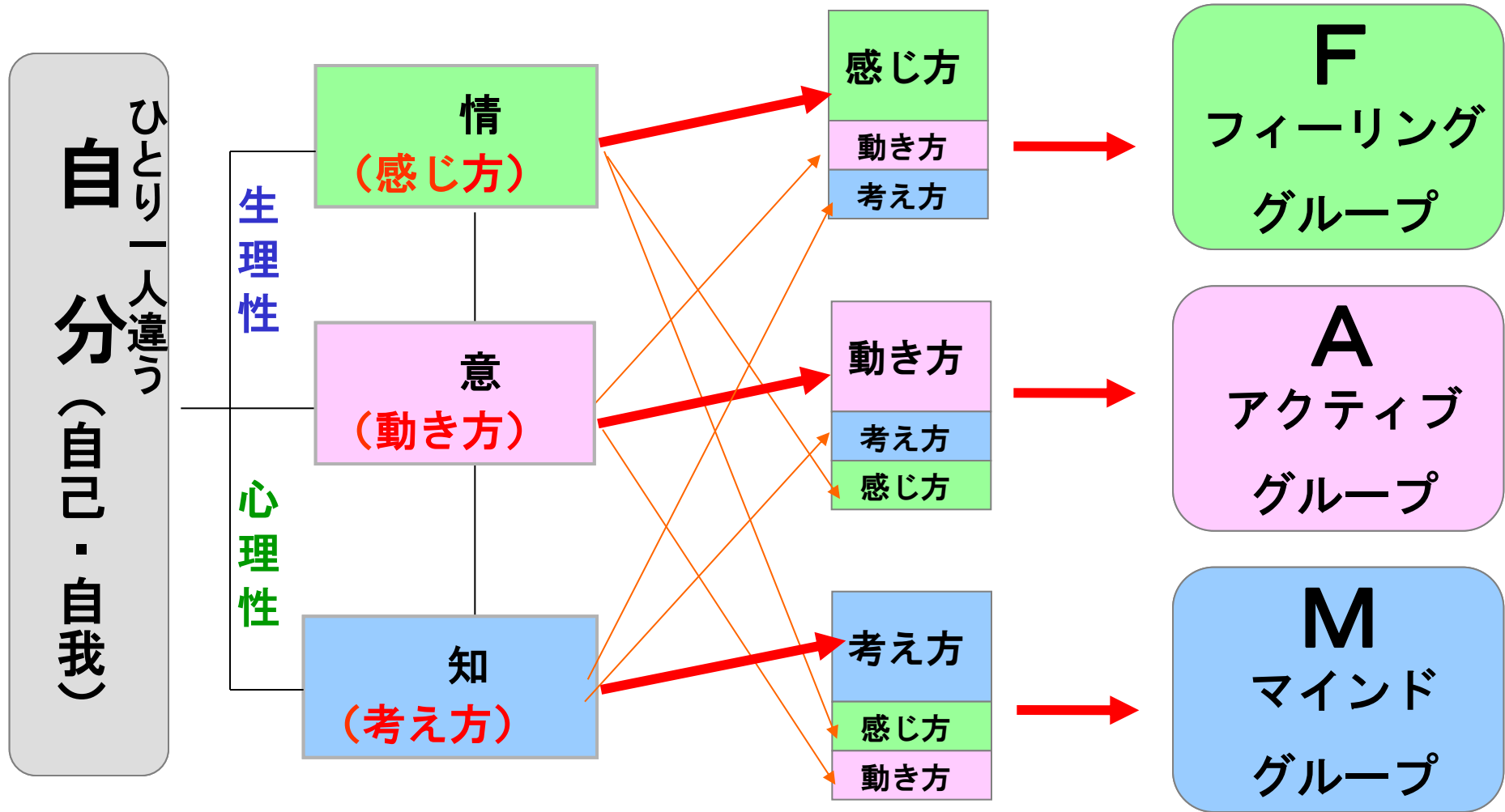


「動き方」



「考え方」

「決断・行動」のキーワード



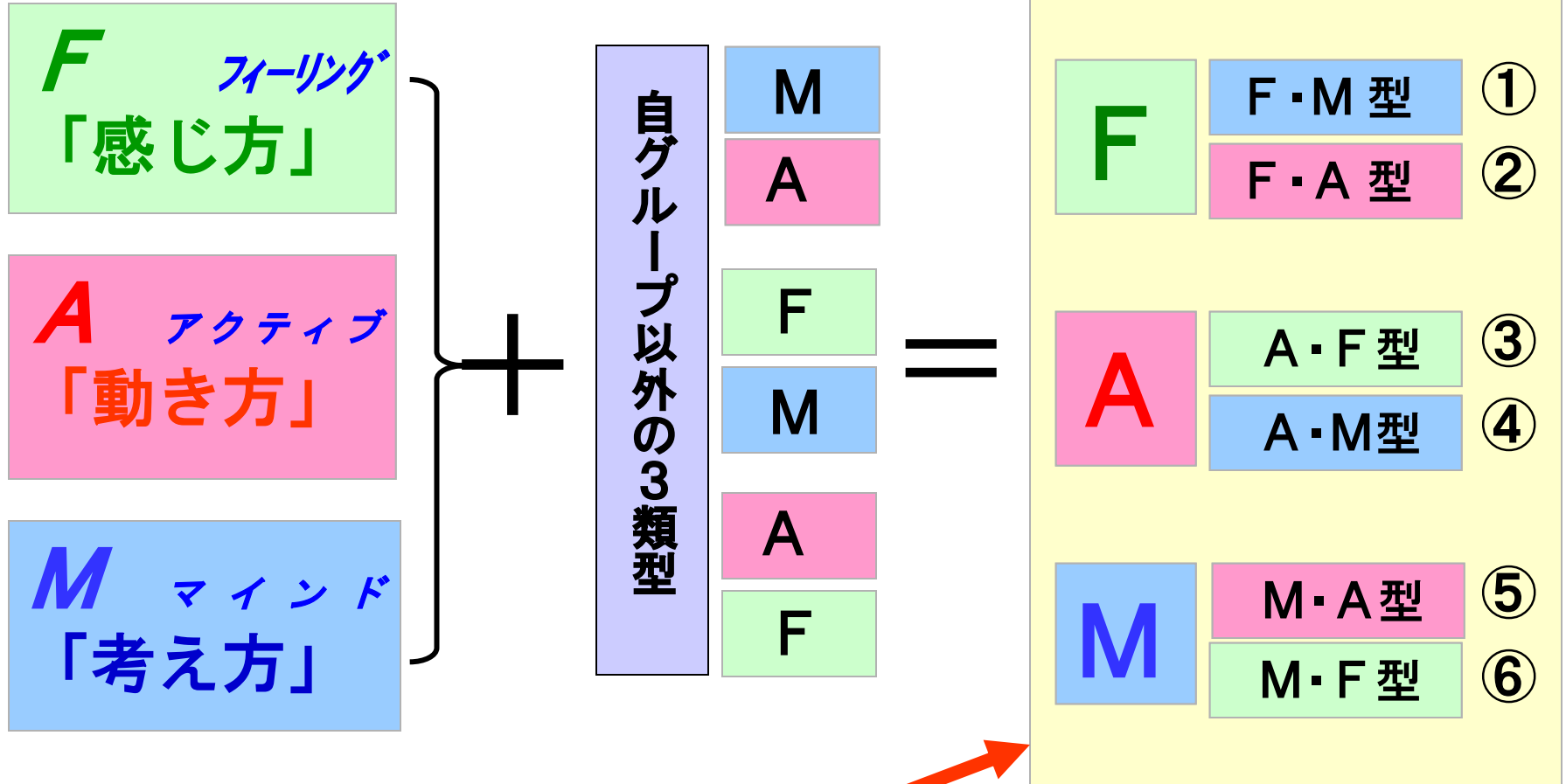
「決断・行動」の際、3つの要因のどれかが優先される！

基本理論の構築手法

＜意思決定要因＞

＜判断バランス要因＞

＜第2次グループ類型＞

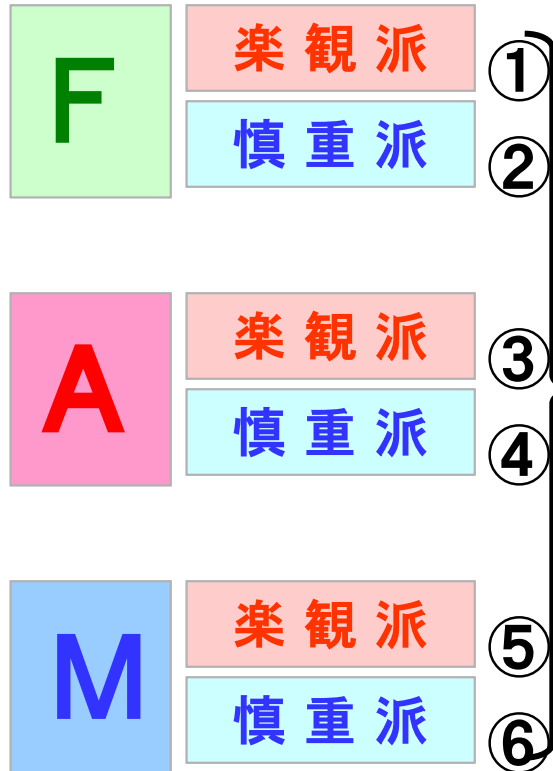


6つの類型

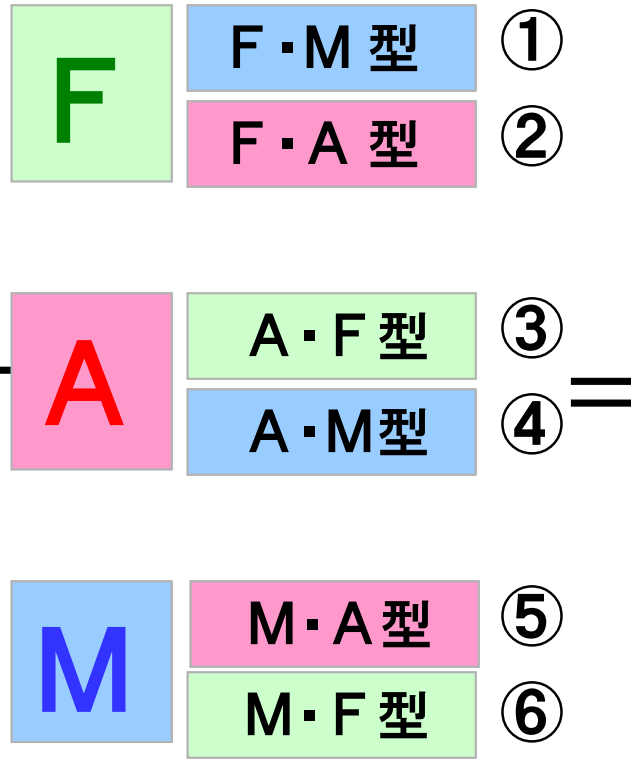
に分けることができる

基本理論の構築手法

<第1次グループ 類型>



<第2次グループ 類型>



<総合グループ 類型>



総合的な **1 2 の類型** になる。

基本理論の再定義

あなたはどのグループ??

ここをクリック調べる! ⇒ [ここ](#)

<グループ 類型>

F	FM型	楽観派
		慎重派
	FA型	楽観派
		慎重派
A	AF型	楽観派
		慎重派
	AM型	楽観派
		慎重派
M	MA型	楽観派
		慎重派
	MF型	楽観派
		慎重派

<番号を付与>



タイプ1
タイプ2
タイプ3
タイプ4
タイプ5
タイプ6
タイプ7
タイプ8
タイプ9
タイプ10
タイプ11
タイプ12

<タイプ別グループ類型>

タイプ1～タイプ4まで
F フィーリング・グループ
に属する。

タイプ5～タイプ8まで
A アクティブ・グループ
に属する。

タイプ9～タイプ12まで
M マインド・グループ
に属する。

フィーリング・グループの特徴

キーワード

役 割

調 整

感 情

喜怒哀楽など物事に
感じて起こる気持ち
快・不快・好き・嫌い

感 性

物事を深く感じ取る
働きや感覚
感受性・直感・感覚

情 緒

物事に触れて起こる
さまざまに微妙な趣
わび、さび・風情・趣



アクティブ・グループの特徴

キーワード

役割

実行

意志

目的や計画を実現しようとする精神の働き

志・意向・心意気

本能

人が生きるために持つ生得的行動様式

感覚・欲求・衝動

行動

外部から客観的に観察できる行為や反応

振る舞い・動き・行い



マインド・グループの特徴

キーワード

思考

智恵

知性

役割

あれこれ頭を働かせて
考え思ふこと

判断・推理・分析

事の道理を踏まえ正しく
判断する頭の働き

叡智・機知・機転

物事を知り、考え、
判断する能力

英知・分別・判断

計画



3つのグループの比較 1

■「行動」を比較すると・・・



F

起動するまでに時間がかかる

行動は「足し算」+

カンを優先した動きで、気分のムラが多い

A

起動するまでに時間がかからない

行動は「掛け算」×

「とりあえず・・・」の行動が多く、ムダを嫌う

M

起動は遅いが「納得」とすると早い

行動は「引き算」-

計画的・マイペースの動きで、ムリをしない

3つのグループの比較 2

■ 「相手への働きかけ」を比較すると...



F

相手からの働きかけを待つ

「受身」の姿勢が多い

相手からの「声かけ」を密かに待っている

A

自分から積極的に働きかける

状況に合わせた臨機応変な動き

直線的だが、相手を見ながらの条件的な反応

M

相手との間合いを見ながら動く

調整的でタイミングを計る

状況を観察しながらのじっくりとした動き

3つのグループの比較 3

■ 「どこにポイントをおいて伝えるか」を比較すると...

F

相手の「情感」に訴える表現
「情をからめた」表現



「何とか心情を理解してほしい」という思い

A

相手「熱意」に訴える表現
自分の意志・気持ち・心意気を伝える

「何とかやる気を判ってほしい」という思い

M

相手の「知性」に訴える表現
理論的かつ冷静な分析

「何とか考え方を判ってほしい」という思い

F グループの人

【このグループに所属する人の傾向性】

一般に**グループ行動**が多く、気を許した友達と仲良くおしゃべりをしているか、ひとりで何かをしていることが多い

何かをするときには、周りの皆と**仲良く進める**が、不安があったり、判らないことがあると戸惑いやすい

何かをする時は周りの皆と同じことをしないと不安になる
(自分だけ他のことをやらされると**疎外感を覚える**)

自分のことと**同じ目線**で相手のことを考える (反面、自分がしたいことも相手に譲ってしまう**遠慮や消極さ**がある)

一番目に名指しされて答を求められたり、急に指名されたりするのを嫌がる (**気持ちの切り替え**がうまくできない)

Aグループの人

【このグループに所属する人の傾向性】

感情がすぐに表情に出やすいので、その時の気分の良し悪しが一目で判る（単刀直入の自己表現が多い）

感情をストレートに表すだけに、**喜怒哀楽もはっきり**している（ときには小さなことでもクヨクヨ心配することがある）

「花より団子」の精神性で、**好きなこと、得意なことを先に**したがる（目標や条件が明確でないとやる気が出ない）

好きなことをしているとき、**途中で中断されるのをとても嫌がる**（人のことよりも、まず自分のことを先にしたがる）

何かをするときは、**その日の気分やそのときの調子**で決まることが多い（いつも頑張っているねと言われると張り切る）

Mグループの人

【このグループに所属する人の傾向性】

体の行動は二の次で、**最初は頭で考える**ことが多い（何ごと
も出だしは遅いが、一旦取り組むと粘り強く進める）

感情の起伏が少なく、**いつも淡々と自分のペース**で物事を進
めることが多い（他人の言動や態度を**冷静**に見ている）

何かをする時は、**時間の設定や区切り**などを大切にしている
（そのため、決まりごとや規則（ルール）は重視する）

友達と群れずに一人で行動することが多い（チームワークの
作業は苦手で、一人の時間の方が落ち着いている）

時間やものの無駄をせず、自分のやるべきことをしっかり進
める（**周りのペースには左右されず**平然と物事を進める）

ご清聴ありがとうございました。

**パーソナルコミュニケーションメソッド
アイソバーコンサルタント代表 村山イツセイ**

日本パーソナルコミュニケーション協会 認定パーソナル診断士